



犀陵だより

第三号 平成23年5月20日

ゴールデンウィークが終わり、五月晴れという言葉が似合う爽やかな季節を迎えました。

動物は活発に活動を始め、植物は緑の芽吹きがぐんぐん成長し、美しい花が咲き始めています。私たち人間にとっても活動的な良い季節です。学校生活も充実した中身の濃いものにしていきたいと思っています。



校長講話



今朝校舎を回ると、朝掃除を一生懸命やる姿が見受けられ、爽やかな気持ちになりました。また、挨拶も爽やかにしてくれる人がたくさんいました。地域の方からも「中学生の皆さんはとてもよく挨拶をしてくれる。」とお褒めの言葉を頂き学校の外でも挨拶する姿が見えるようで嬉しく思います。

今、学校の周りは花や木の緑が美しい季節になりました。今日は家から3種類の花を持って来ました。つつじ、山吹、八重桜です。どれもそれぞれ美しい花です。花や植物はそれぞれの季節に美しい花を咲かせるように、遺伝子の働きでそうになっています。何故そうになっているかはよくわかっていないようですが不思議なことです。

地球上のあらゆるものがこの世に突然現れたのではありません。46億年前に地球が誕生し、40億年前に生命と思われるものが生まれ、それ以来進化を繰り返し、姿かたちを変えて今に至っています。普段はそんな思いで見ることはないわけですが、視点を変えると、命をつないできた動植物たちに囲まれて生活していることにすごさを感じます。

花は、色、形、においなど様々です。人についても同じことが言えます。性別、国籍、体の大きさ、体力、性格など同じ人間は二人といません。同じ人はいませんが、こうして学校生活を送っています。一緒に生活していれば仲違いもあります。しかし、バラバラではありません。皆で学習し、食事をし、休んでいる人のことを考え合って生活することができます。何故そんなことができるのでしょうか。それは、一人一人がそれぞれの違いを感じ、認め合って生活しているからではないでしょうか。違いを認めていることが大切です。

生きとし生けるものが二つと同じものはない。当たり前と思えるすべての事が奇跡に近いことだと思います。お互いに認め合って生活してほしいと思います。

今日も一日元気で実りのあるものにしていきましょう。



交通安全

5月の爽やかな季節を迎えています。例年この時期には春の交通安全運動が行なわれます。本年度も11日から本日20日までがその期間でした。

皆様ご存知のように、本年長野県内では交通事故による死者が多発しています。全国ワーストワンというニュースもありました。本校では昨年度、交差点での事故が何件かありましたが、幸い本年度になってからの交通事故はなく、安全な登下校ができています。特に自転車の乗り方、交差点でのマナーを守り今後とも無事故で一年を終えられるようにしたいものです。ご家庭でも時々声がけをお願いします。



授業参観

昨日は本年度2回目の授業参観と部活動参観がありました。お忙しい中ご参観頂きありがとうございました。

参観の感想を寄せて頂いてありますので、4月の第1回目のものも合わせ、紹介します。

「思いやり」がテーマの授業でした。

答えがない中で子どもたちが自分の意見をしっかり発言できていました。親も参加し楽しく授業が進められていました。

私語をする生徒もなく、授業に取り組んでいる姿が見られて良かった。

楽しそうにクラスで過ごしていて安心しました。

授業で使用する植物を採取してきた生徒たちと階段で会いました。皆さん気持ちの良い挨拶をしてくれました。礼儀の良い生徒さんたちでした。うれしくなりました。

人権週間

今月末5月30日（月）から6月3日（金）までは人権週間です。1年の間には色々な週間があるわけですが、その中でも特に大事にしたい週間です。

主な内容としては、学級の課題についてのクラスでの話し合い、全校人権集会、人権宣言の清書などです。

多くの子どもたちが生活を送っている学校の中では、人間関係のトラブルが発生することは避けられないわけですが、校長講話にもあったように「みんな違ってみんないい」というお互いを認め合う気持ちを持つことで、それらの問題はかなり減らすことができると思います。人は自分と違っているのが当たり前です。その違いを認めることで自分も認められるものです。この週間を通して、大事なことを学んでくれることを望みます。

